

# 美術

## ○ 学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり

中学校学習指導要領 第6節美術 第3指導計画の作成と内容の取扱い 1 指導計画作成上の配慮事項(2)

第2の各学年の内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導については相互に関連を図り、特に発想や構想に関する資質・能力と鑑賞に関する資質・能力とを総合的に働かせて学習が深められるようにすること。

◆ 題材名をB鑑賞「風景に込められた想い」のように、発想や構想に関する資質・能力と鑑賞に関する資質・能力を関連付けながら育成できるよう、双方に関連した題材名にする  
中学校学習指導要領 第6節美術 第2各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕 3 内容の取扱い(1)

第2学年及び第3学年では、第1学年において身に付けた資質・能力を柔軟に活用して、表現及び鑑賞に関する資質・能力をより豊かに高めることを基本とし、第2学年と第3学年の発達の特性を考慮して内容の選択や一題材に充てる時間数などについて十分検討すること。

◆ 3年間を見通し系統的に身に付けられるようにする

### 「個を活かす協働的な学び」の実現 「個に応じたきめ細かな指導」の充実

「授業づくりの三訓」を生かして(例)

しかけて待つ	語らせつないで	認め励ます
<p>■導入段階の工夫</p> <p>体験を通して各自のイメージを自然に膨らませて、各自が表したい主題を生み出しやすくする。</p> <p>◇手立ての例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実際に木に触れたり、自然が奏でる音に耳を傾けたりしながら「各自がそれぞれの木から感じるイメージ」について生徒に問いかける。</li> </ul>	<p>■理由を語る場を設定</p> <p>生徒が発表した理由を造形的な視点でおさえ、造形を豊かに捉えられるようにする。</p> <p>◇手立ての例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な素材の器を実際に触って感じ取ったり考えたりすることができるようにする。</li> <li>生徒の発言を造形的な視点でおさえることができるよう意図的な板書をする。</li> </ul>	<p>■対話による理解促進</p> <p>ワークシートなどを書くことができている生徒に対して、対話によって一緒に振り返り取り組んできたことを称賛する。</p> <p>◇手立ての例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の語りから学んだことを整理したり、価値付けたりしながら取り組んできたことを称賛する。</li> </ul>

### ICTの活用について

### 第2学年 構成や装飾の目的や機能などを考えた表現

#### 【ICT活用のメリットを生み出すための工夫】

- インターネットを活用したWebページの閲覧やクラウドに保存した画像を使うなどして、デザインの鑑賞をし、自然の造形の形や色彩などの働きを理解して、見方や感じ方を深める。その際、関連サイトのブックマークを準備したり、学習のねらいに応じた画像を教師が精選してクラウドに上げたりする。
- 表現の活動において何度でもやり直しをしたり、取り込みや貼り付け、形の自由な変形、配置換えなど、様々に試したりすることができる。事前に画像の回転、移動、縮小、拡大などの機能について練習をしておく。



#### 【活用したソフトや機能】

- ウェブブラウザ、写真撮影機能、プレゼンテーションソフト、ファイル共有機能、文書作成ソフト

【参考】・StuDX Style (<https://www.mext.go.jp/studxstyle/index2.html>)

- 「音楽、図画工作、美術、工芸、書道の指導におけるICTの活用について」

